

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成21年度第2回定例会会議記録
開催日時	平成21年5月27日（水曜日） 18時30分から21時05分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長 森忠 副会長 渡辺文子 委員 中嶋美沙子、西嶋剛昭、定盛秀俊、千葉桂子、古賀節子、須磨田純子、柴山隼、大島眞之、福島憲子、加藤真理、上田幸夫 職員 相原館長、山本主幹、近藤係長、小笠原分館長、玉木分館長、小林分館長
欠席者	萩原建次郎
議題	委嘱式 （1）職員紹介、及び委員自己紹介 （2）正副会長の互選 （3）公民館だより編集委員の選出 （4）都公連研究大会企画委員の選出 （5）都公連委員部会運営委員の選出 （6）協議事項 1 今後の審議の進め方等について （7）報告事項 1 行政報告 2 事業計画書・報告書について （8）次回の日程について
会議資料の名称	（1）事業報告書（20年度事業） 1 公民館を拠点とした地域づくり （2）事業計画書 1 夏休み陶芸教室（柳沢） 2 短期集中、若い女性のための「ゆかた入門」（柳沢） 3 沖縄舞踏エイサーを踊ろう（柳沢） 4 めざせM-1 お笑い講座（柳沢） 5 夏のわくわく体験「縄文ギッズに挑戦」（柳沢） 6 高齢者講座「田無カレッジ」（田無） 7 親子陶芸教室（芝久保） 8 科学あそび講座 空気で遊ぼう（ひばり） 9 キッズ茶道講座（ひばり） 10 盲導犬についてのお話と歩行体験訓練（駅前） 11 子ども陶芸講座（駅前） （3）事業報告書 1 子ども対象「花づくり講座」（ひばり）
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><b>委嘱式</b> 委員への委嘱を行う。</p> <p><b>（1）職員紹介、及び委員自己紹介</b> 各位自己紹介を行う。</p>	

## (2) 正副会長の互選

会長には森忠委員、副会長には渡辺文子委員を選任

19時15分休憩

19時25分再開

## (3) 公民館だより編集委員の選出

加藤真理委員、須磨田純子委員を選出

## (4) 都公連研究大会企画委員の選出

千葉桂子委員を選出

## (5) 都公連委員部会運営委員の選出

大島眞之委員を選出

## (6) 報告事項

### 1 今後の審議の進め方等について

会長 会議の記録の取扱いについて報告を受ける。

職員 これまでも、会議内容の要点をメモして記録としてきた。翌月の会議までに調整して委員に配付している。市議会の議事録のように審議内容を録音して一言一句漏らさず残すような記録法は取っていない。

会長 質疑を受ける。終結する。従来どおりの記録とする。

開催の曜日や時間について意見を聞きたい。特に意見が無ければ、第4水曜日の午後6時30分としたい。なお、祝日の重複する9月と12月は第3水曜日とする。

新任委員も多いので、暫くの間、学識委員に公運審の役割等について教示願う時間をとっていきたいと思う。希望の内容やテーマについて意見を聞きたい。

委員 公民館とは、社会教育とは、という基本について聞きたいと思う。

委員 生涯学習がもてはやされ、社会教育という言葉が敬遠されがちだ。実生活に即した話しを聞きたいと思う。自分の生活の中では身近に考えるときが多くあるが、人に説明するときにはどうしたらうまく伝わるのか。

次に、指定管理者制度と有料化について。本当に指定管理者制度はいけないものなのか。住民本位の住民による指定管理の例は無いのか、などについて聞きたい。

会長 初めて委員になった方は分からないと思われる部分をどしどし言っておいてほしい。意外なところから本質が浮き彫りになることが多い。

委員 公民館とは何のためにあるのか、なぜ必要なのかをまず確認したい。次に、地域情報の発信とは、子どもを地域で育てるとは、などを勉強したいと思う。

委員 前職が教員であったので、学校教育がどういうものなのかはよく理解できる。しかし、自分の子どもも社会の中で育ち、また公民館は全年齢をカバーしており幅広い人を対象に運営している。そうした社会教育とはどんなものなのか、原点を学びたい。また、その現場である公民館とはどういった場所なのかを知っておきたい。

学校教育と社会教育の接点はあるようでいて、これまでは難しかったのではないか。補い合う点は無いか。社会教育は全年齢を対象にした学びの場ということなのだろうが、現実としてどこにターゲットを絞るべきなのか。ねらいを教えてほしい。

委員 公民館は生涯学習の場だと思う。以前は家は寝るために帰る場所であったものが、地域に戻ってみて、公民館という所は本当に良い場所であると感じた。駅前公民館も今は借りたくとも借りなれないほどサークル活動が活発に行われている。

委員 公民館とは、という原点について学びたい。また、同じ都内でどうして区部には無いのか。公民館が無い地域と西東京のような地域とではどういった違いが発生しているのか、ということを知りたい。

委員 東伏見にコミュニティーセンターがあるが、こうした集会施設と公民館との差異はあるの

か。使用法に違いがあるのか。公民館はコミセンにはなれないのか。といったことが疑問に感じている。

会長 いろいろと意見が出たので、集約して学習につなげたい。

## (7) 報告事項

### 1 行政報告

会長 報告を受ける。

館長 新型インフルエンザの流行に伴い、不特定多数の市民が利用する施設の長として手洗い、うがいの励行に関する表示、市の保健福祉部がまとめた情報ポスターの掲示に努めている。

また、公民館講座の開催時に次の点を担当職員が確認するよう指示した。受講生の体調の確認、入退館時のうがいと手洗い、帰宅後体調が変化した場合の報告依頼についてだ。本件は、講師に関しても同様の措置をとっている。

芝久保公民館の空調工事に伴う臨時休館は、予定どおり6月10日～30日の20日間となる。

駅前公民館の分館長が病欠となっている。この間、芝久保公民館の分館長が応援する体制を組むこととした。

### 2 事業計画書・報告書について

会長 質疑を受ける。

委員 田無公の報告書について。社会教育に関する講座を芝久保でも4年ほど前に行ったが参加者数が芳しくなかったことを記憶している。内容は大切な講座なだけに必ず行うようにしてほしい。PRにも努力してほしい。

ひばり公の花づくり講座の実施日に関する記述であるが、日程の設定は難しい点もあるが、定例化することも必要な手立てだと感じた。特に、今回は母の日に向けてよい企画だったと思う。

委員 田無公の地域づくり講座は、委員研修を兼ねて行われた。内容は良かったが、参加者が少なく残念だった。タイトルや呼びかけ方法に工夫がほしい。このタイトルでは人は集まらないと思う。

今回は陶芸教室が3箇所の公民館である。駅前公は陶芸窯があるのか。

職員 講師の手持ちの窯で焼くと聞いている。

委員 エイサーを踊ろうだが、旧住吉公でもロックソーランの講座があったと思う。受講後の市民を地域のサークルに紹介することを進めてほしい。

委員 柳沢公の縄文人体験だが、集会所と遺跡公園を使うようだが、小学生相手の3時間にこの内容は詰め込み過ぎの感があるが、大丈夫か。

委員 この講座を小学生に絞った理由と何を目標しているのか。

職員 下野谷遺跡は、柳沢公の地域にとっては最大の文化遺産であり、日本でも屈指の遺跡であることを地域の子どもに少しでも知ってもらいたいというのが趣旨だ。しかし、こうした内容で高学年の児童や中学生を集めるのは困難だと感じるので、低学年の子どもに特化した。いろいろと体験してほしいために少し窮屈な内容になってしまったことは否めない。

委員 施設外で行われる事業の意義は大切なものである。

職員 昨年度担当をしたが、去年はもっと盛りだくさんにしてしまい、その反省から編み物に絞ったものと思う。子どもたちには、講師が本物の土器を見せ、手に触れさせ、貴重な体験ができる。しかし、夏の盛りに行う野外事業のため、熱中症にだけは注意したい。また、ボランティア団体の人が大変協力的で助かった。

委員 柳沢公の若い女性のための講座は大賛成だ。ただし、この時間に集まるのか疑問に感じた。

委員 せっかくゆかたを着用するのだし、このままどこかに出かけるという企画をプラスしてはどうかと思う。

職員 以前にせっかく着たゆかた姿で江戸東京たてもの園に出かけてはどうかという企画を考えたが、先方の都合と折り合わずにチャンスが途切れたことを記憶している。しかし、そうした工夫は必要だと思う。

委員 せっかくきれいに着飾っても、帰宅するとあられもない姿になってしまう女性もいる。着付

けの技術ばかりでなく、外出時のマナーもきちんと教えてほしい。

委員 きれいに着飾ったのだから、写真を残しておいた方が良くはないか。記念の写真を撮るなどの工夫も必要かと思う。

職員 いろいろと提案を受けたが、この講座の大きな目的は若い女性に公民館や地域の活動に目を向けてもらうことであり、公民館の着付け教室ではない。ゆかたに興味を示した女性たちに、少しでも地域に根を下ろすような問いかけができればよいと思っている。

委員 若い人のための講座に目指せM-1がある。今、お笑いブームで、よい企画だと思う。それだけに多くの応募があると予感するが、申し込み方法を確認したい。

職員 先着順だ。若者代表の委員に確認したい。こうした講座に参加してみたく感じるか。

委員 私は参加しないと思うが、PRの仕方次第だと思う。

会長 質疑を終結する。

#### **(8) 次回の日程について**

6月24日(水曜日) 18時30分 於:田無公民館 第二学習室

会長 他に意見がなければ、閉会とする。